

 評価のポイント

CL-Ⅲ. 看護実践能力：ケアする力

〔24-3〕虐待がこどもに及ぼす影響と看護支援 委託一時保護による入院の事例

虐待を受けたこどもに共通する特性から、どれか一つに対し、具体的なケアの方法について検討してください。

虐待を受けたこどもに共通する特性

- ・落ち着かない（多動と衝動的亢進）
- ・眠れない（睡眠覚醒リズム障害）
- ・食事の不安定とトイレの失敗（摂食・排泄障害）
- ・勉強できない（注意欠陥と学習障害）
- ・自分のしたことを覚えていない（解離）
- ・思い出しパニックがある（侵入的記憶想起）
- ・こだわりや奇妙な癖がある（強迫的心性）
- ・自傷してしまう（皮膚感覚の特異性）
- ・反省・内省することができない（感情失認と万能感の肥大）

これまでに体験した被虐待児との関わりの中で、こどもの特性を振り返り、支援する際にどのようなことで困ったかを言語化してください。その上で、どのように関わればよかったのかを考えてみましょう。

グループで行う場合には、それぞれの経験を共有し、どのように関わればよかったかを話し合ってください。